

# 運 営 会 議

## た よ り

3月/2026年/NO.62

■発行：特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定法人）[鎌倉市市民活動センター指定管理者]  
■TEL/FAX：0467-60-4555 ■E-mail：rep@npo-kamakura.org ■http://npo-kama.sakura.ne.jp/uk/

特集1：理事会からのお知らせ

2：自主事業報告（かながわNPO伴走応援プログラム）

### 理事長挨拶

大変遅まきながら、本年もよろしく申し上げます。

新しい第6期指定管理の5年間の最初の一年が終わろうとしています。

大きな課題でありました大船の無人化（オートロック、PIN番号入力による解錠）と大船と鎌倉の会議室予約もスタッフ一同の努力と登録団体のご理解を得る中で、無事稼働し順調に推移しています。

また、本年度からはセンターの運営も大きく変わり、センター長の週5日勤務、スタッフ一人一人の専門性を活かしたジョブの設定、それらを底支えするIT基盤の強化が行われました。グループウェアの導入、ノーコードアプリの開発システムの導入などを行い実りある年度末を迎えることができます。ご理解いただいた正会員の皆さまに御礼申し上げます。

### 渥美センター長挨拶

昨年4月より鎌倉市市民活動センター運営会議のセンター長を拝命しました渥美貴司と申します。皆さまにおかれましては、日頃より当NPOセンターへのご理解とご支援そしてご協力を賜り誠に有難うございます。

私は新卒で銀行に就職し各地を転々とした後、飲料メーカーへの転職を機に鎌倉市（梶原）に定住し27年になります。飲料メーカー勤務時には経営企画、経理、総務人事と経営や組織の管理業務を幅広く経験するとともに、人事関連業務の中でダイバーシティの推進や障がい者雇用の促進など市民活動に通じる業務を経験しました。知人から鎌倉市市民活動センター運営会議についてお聞きし、センター長の公募に応募し早1年になります。

皆さまに気軽にご相談・ご利用いただけるようなより良いNPOセンターを目指して業務に精進して参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■ 鎌倉市市民活動センター運営会議(以下、運営会議)は、

市民活動の支援を目的とする中間支援組織です

■ 運営会議は、NPOセンター鎌倉・大船2館の指定管理者です

■ 鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします

## ■ 理事会からのお知らせ

理事会からとても大切なお知らせが二つあります。

### (1) 定款変更 法人名

先の総会で決議された「法人格の表記」の変更が行われ、登記も完了しています。

(旧) 特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議

(新) NPO 法人鎌倉市市民活動センター運営会議

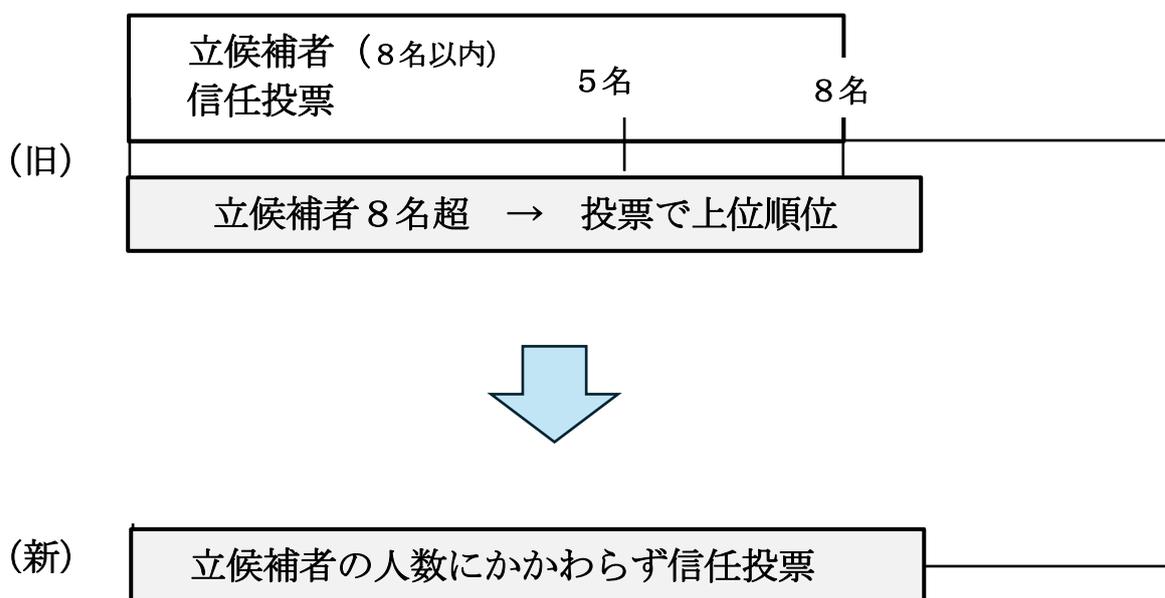
### (2) 役員選挙規程改定

選挙規程の改定が行われました。理事の職務遂行性を確保することを目的としています。

(あ) 立候補者の数に関わらず、すべて信任投票とする。

(有効投票数の過半数を得た得票数上位 8 名までの立候補者が役員に選出される。)

(い) 信任されたものが 5 名に満たない場合は、信任されたものを理事候補者として確定したうえで、補欠選挙を行う。



※信任とは有効投票数の過半数の信任をもって当選とする

## ■ 自主事業報告

今年度も神奈川県の実業である「伴走応援」（正式名称：かながわNPO 伴走応援プログラム）が8月から約半年に渡って行われ、運営会議は自主事業として以下の2団体への伴走応援を行い、成果を持って終了しました。

この伴走応援は、県下のNPO法人格のある市民活動団体を対象にアンケート調査による団体の組織基盤の診断から始めて現状の分析、取り組み課題の抽出、課題解決の施策提案と実施までを団体と一緒に対話を繰り返しながら進めるプログラムです。

1/27（火）に伴走応援報告会、2/20（金）にプログラム参加団体による成果発表が行われました。

### 【アートとつながる鎌倉】

#### 1. 主な成果

- 対話型美術鑑賞、アートカードゲームを体験する講座をNPOセンター鎌倉と共催し、ステークホルダーとのつながりづくりと団体活動のPRの実績を作った。
- 団体のミッション、ビジョンを言語化し、団体の広報活動に使えるツールを制作した



#### 2. 感想・今後に向けて

- 自分たちでも薄々気づいていた問題点を指摘され改善に向けて重い腰を上げる良いきっかけとなった。
- プログラムに参加し、多くのNPO団体の方々の素晴らしい活動を知ることが出来た。
- 会員のスキルアップのために同業他団体との交流、情報交換を企画してみたい。
- NPOセンターはじめ今後も様々な団体の方々との横のつながりを持ち、協働やお手伝いをしたり、お願いしたりする関係を築きたい。

### 【アルペなんみんセンター】

#### 1. 主な成果

- 認定NPO法人の申請が2/5付で認可された。
- 就業規則が整備できた。

#### 2. 感想・今後に向けて

- プログラムに参加した感想
  - ・ 諸課題を洗い出す機会になった。
- 団体内に生じた変化や気づき
  - ・ 諸課題の解決に向けて、職員間の討議の機会が増えた。
  - ・ 業務システムの効率化の必要性を職員間で共有できた。
- 今後に向けた抱負や目標
  - ・ 認定NPOとして広く社会に難民問題を伝える。
  - ・ 就業規則整備に伴い、職員の待遇改善をはかる。
  - ・ 活動強化のために、業務のDX化をすすめる。
    - － WEBのリニューアル（3月末公開予定）
    - － コングラント、キントーンによるドナーマネジメントの試行（6月末）



## ■ 広がり

### (1) GBER 事業

当法人は、鎌倉市のつながる鎌倉条例に従って「魅力と活力のあるまち鎌倉」のまちづくりを目指しています。

指定管理業務の一環として「孤立と孤独のゼロ次予防」のまちづくりのために「ここかま」に参加しています。



### (2) 30年事業積立金

当法人は、2、3年の内に30年を迎えます。30年の記念事業を想起し、今期決算後の余剰金の中から、その一部を積立金に回したいと考えています。

### (3) 部会活動

現在部会が「ファンデ部会」だけです。ファンデ部会は熱心に行われ、成果を上げています。参画されている正会員の皆様に感謝します。

## ■ 全員会議のお知らせ 令和7年度第2回全員会議が開かれます。

日時： 3月29日（日） 16:00～19:00  
会場： 大船レストラン パラッツォ ヴィオラ

16:00～ 全員会議  
17:00～ 親睦交流会

## ■ 令和8年度 通常総会のお知らせ

日時： 5月24日（日） 15:00～ ※理事監事の役員選挙あります  
会場： NPOセンター大船 会議室

## 会 員 募 集

運営会議は会員によって支えられています  
入会随時です。

### 〈会費〉

正会員 個人正会員 2,000円

賛助会員

個人 1,000円、2口以上

団体 1,000円、3口以上

正会員数 118名

賛助会員数 16名

賛助団体数 168団体（2月末現在）

鎌倉市市民活動センター運営会議は  
「認定NPO法人」格を取得しています

“あなたのご寄附が、  
鎌倉の街を元気にします”

ご寄附いただいた場合、「寄附金控除」  
制度が適用され、確定申告で税金の還付  
が受けられます

お問い合わせは運営会議事務局まで！！